

平成18年  
5月31日

# 病害虫発生予報 6月号

茨城県病害虫防除所  
茨城県植物防疫協会

5月29日から全ての農作物に残留農薬基準が設定されました！！

薬剤散布の際は周囲への飛散に十分注意しましょう

## < 目次 >

### ・ 今月の予報

#### 【注意すべき病害虫】

水稲：いもち病(葉いもち), イネミズゾウムシ, イネドロオイムシ . . . . . 1

小麦・六条大麦：赤かび病 . . . . . 3

ナシ：黒星病, カメムシ類, ナシヒメシンクイ . . . . . 3

夏ネギ：べと病, ネギアザミウマ . . . . . 5

【その他の病害虫】 . . . . . 5

水稲, ナシ, ブドウ, カキ, 夏ネギ, スイカ, 促成キュウリ, 半促成ピーマン,  
抑制トマト

### ・ 病害虫ミニ情報

ナシを加害するハダニ類卵の薬剤感受性と防除について . . . . . 7

施設野菜におけるコナジラミ類の防除について . . . . . 8

農薬登録速報(4月)の概要 . . . . . 8

### ・ 今月の気象予報 . . . . . 10

### ・ テレホンサービス . . . . . 10

029(226)5321, 6131

本文に記載された農薬の登録内容は, 平成18年5月25日現在のものです。  
農薬を使用する際は, 農薬ラベルに記載の使用基準, 注意事項等を確認してください。

詳しくは, 病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445

予報内容は, ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・今月の予報  
【注意すべき病害虫】

水 稲

1. いもち病（葉いもち）

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	平年並	県下全域

[予報の根拠]

5月下旬現在，例年通り置苗にいもち病の発生は認められなかった。  
気象予報によると，6月は平年と比べて曇りや雨の日が多いと予想されるが，  
気温は平年並か低いと予想され，発生を助長する条件ではない。

[防除上注意すべき事項]

常発地で育苗箱施用剤を使用していない水田では発生に注意する。  
例年6月末頃から発生するので，葉いもちを粒剤で防除する場合は発生前に  
施用する。  
粒剤の施用時期と中干しの時期が重なる場合は，中干し後に必ず湛水状態に  
してから粒剤を散布する。かけ流しはしないで4日間は湛水状態にする。  
防除所の調査地点では75%のほ場で置苗が認められる。置苗はいもち病の発  
生源となるため，速やかに本田から持ち出して埋めるなど，処分する。  
中干し等の栽培管理を徹底し，イネの健全育成に努める。

2. イネミズゾウムシ

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
やや遅い	平年並	県下全域

[予報の根拠]

5月下旬現在，成虫の発生時期は平年よりやや遅く，発生量は県北，鹿行，  
県南でやや少なく，県西で平年並である（表1）。  
成虫による葉の食害（被害度）は平年並である（表1）。

[防除上注意すべき事項]

イネの初期生育が遅い水田，育苗箱施用剤を使用していない水田では発生に  
注意する。  
成虫の発生ピークは，5月末～6月上旬となる。6月中旬までの晴天の日中に，  
10株あたり8頭以上の成虫が認められる場合は，MR・ジョーカー粒剤等を  
散布する。粒剤の使用にあたっては，散布後に水が流出すると効果がないの  
で，かけ流しはしないで4日間は湛水状態にする。  
湛水状態は成・幼虫の活動に好適なため，防除終了後は適切な水管理をして  
イネの健全育成に努める。

( 水稲 イネミズゾウムシ 続き )

表1 イネミズゾウムシ成虫の発生状況(5月下旬調査)

	虫数(頭)/25株			被害度		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
県北	1.2	3.0	2.8	15	17	17
鹿行	0.7	2.3	2.0	9	8	9
県南	2.2	1.6	3.6	27	15	25
県西	3.1	0.7	3.2	20	7	21
全県	1.8	2.1	3.3	19	14	19

被害度：葉の食害程度を示す。1～20は少発生，21～40は中発生，41～70は多発生。

### 3. イネドロオイムシ

[ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
やや遅い	やや多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

5月下旬現在，越冬成虫の発生時期は平年よりやや遅く，発生量は平年並である(表1)。

気象予報によると，6月は平年と比べて曇りや雨の日が多いと予想され，発生に適した条件である。

[ 防除上注意すべき事項 ]

比較的低温で湿潤な気候を好むので，曇雨天が続く場合は注意が必要である。霧が発生する地域では特に発生に注意する。

育苗箱施用剤を使用していない水田では発生に注意する。曇雨天が続いた場合は，育苗箱施用剤を使用している場合でも6月中旬以降に発生が多くなることがある。

例年，幼虫は6月上旬頃から発生し，被害は6月下旬に最も多くなる。

幼虫の発生が多く，食害が目立つ場合は，トレボン粒剤等を散布する。

表1 イネドロオイムシ成虫の発生状況(5月下旬調査)

	虫数(頭)/25株			発生地点率(%)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
県北	0.1	0.0	0.1	7	0	4
鹿行	0.0	0.0	0.1	0	0	8
県南	0.2	0.1	0.2	11	5	11
県西	0.0	0.0	0.0	0	0	2
全県	0.1	0.0	0.1	6	2	5

小麦・六条大麦

1. 赤かび病

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
遅い	多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

5 月第 2 半旬以降、曇雨天が多く、感染を助長する条件が続いている。気象予報によると、向こう 1 か月も平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されている。

5 月下旬現在、六条大麦では平年よりやや多い発生である。小麦は平年並の発生であるが、今後病徴が現れるものが多いと考えられる。

[ 防除上注意すべき事項 ]

倒伏や収穫の遅れにより発生が助長される恐れがあるため、適期収穫に努める。また、赤かび粒が混入しないよう注意する。

収穫後は速やかに乾燥・調製を行う。調製の際は、グレーダー網目を 2.4mm 以上とするなど、被害粒の除去を徹底する。

( 病虫害発生予察注意報第 1 号 参照 )

ナ シ

1. 黒星病

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	平年並～やや多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

5 月下旬現在、発病葉率・発病果率ともに、平年並～やや少ないが、発生地点率は平年並～やや高い。

気象予報によると、向こう 1 か月は曇りや雨の日が多い予想され、発生に適した条件になりやすい。

[ 防除上注意すべき事項 ]

発病した果そう基部、葉及び果実は二次伝染源となるため、見つけ次第除去し、土中深く埋める。

発病の多い圃場では、治療効果を期待できるスコア水和剤 10 等を散布する。なお、薬剤防除にあたっては、周囲への飛散(ドリフト)に十分注意した散布方法で行う。

薬剤散布量は、10a 当たり 300 リットルを目安にし、丁寧に散布する。

薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行う。

薬剤耐性菌の出現を回避するため、DMI ( EBI ) 剤の年間使用回数は原則 3 回以内に抑えることが望ましいが、現在発病の多い圃場では追加散布を実施する。その際、使用回数には特に注意する。

( ナシ 続き )

2 . カメムシ類

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並～やや遅い	多い (越冬世代)	県下全域

[ 予報の根拠 ]

本年 2 月の山林でのチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果，越冬虫は過去 10 年中最も多かった。

5 月の主要な生息場所であるサクラ(笠間市)におけるチャバネアオカメムシの発生量は過去 5 年中最も多い。

[ 防除上注意すべき事項 ]

ナシ園に多数のカメムシ類が飛来した場合，エルサン水和剤 40，M R . ジョーカー水和剤等の薬剤による防除を行う。なお，薬剤防除にあたっては，周囲への飛散(ドリフト)に十分注意した散布方法で行う。

防除はカメムシ類の活動が鈍い早朝に行う。

多目的防災網(6mm 目及び 9mm クロス目以下)を張るなどの物理的な防除対策を行う。

3 . ナシヒメシンクイ

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

5 月下旬現在，被害果は認めず平年並である。

5 月下旬までのフェロモントラップ(笠間市，土浦市)への誘殺数は平年より多い。

[ 防除上注意すべき事項 ]

今後，次世代成虫が発生するため，今後の情報等を参考に適期防除に努める。

薬剤散布量は，10a 当たり 300 リットルを目安にし，丁寧に散布する。なお，薬剤防除にあたっては，周囲への飛散(ドリフト)に十分注意した散布方法で行う。

## 夏ネギ

### 1. ベと病

#### [ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い~多い	県下全域

#### [ 予報の根拠 ]

5月下旬現在，発病度は平年並，発生地点率は平年よりやや高い。

気象予報によると，向こう1か月は，平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想され，発生を助長する条件である。

#### [ 防除上注意すべき事項 ]

葉に灰白色のかびの生えた病斑が見られる場合には，早期に防除を実施する。その後も曇雨天が続くと発生は助長されるため，発病状況に応じて薬剤散布を行う。

薬剤散布量は，10a 当たり 250 リットルを目安にし，丁寧に散布する。

肥料切れは発生を助長するため，生育状況に合わせ適切な肥培管理を行う。

### 2. ネギアザミウマ

#### [ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

#### [ 予報の根拠 ]

5月下旬現在，被害度，発生地点率とも平年よりやや高い。

#### [ 防除上注意すべき事項 ]

今後は気温の上昇に伴い増殖が速くなるので，発生初期からの防除を徹底する。

薬剤散布量は，10a 当たり 250 リットルを目安にし，丁寧に散布する。

雑草は，ネギアザミウマの発生源となるため，圃場周辺の除草を徹底する。

### 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
水稲	黄化萎縮病	-	移植後 10～50 日の間に冠水すると発生の恐れがある。発生を認めた場合，直ちにリドミル粒剤 2 を散布する。
	イネクロカメムシ	発生時期：遅い 発生量：平年並	水田では6月下旬頃から発生するので，発生を認めた場合は防除する。
ナシ	アブラムシ類	発生時期：遅い 発生量：少ない	5月下旬現在，平年より少ない発生である。
	ハダニ類	発生量：平年並	5月下旬現在，発生は認められない。

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
ブドウ	灰色かび病	発生量：平年並	開花期に降雨が続くと発生しやすいので注意する。
	べと病	発生量：平年並	降雨が続くと発生しやすいので注意する。
カキ	炭そ病	発生量：平年並	5月下旬現在，発生は認められない。昨年発生した圃場では，降雨により枝の病斑から胞子が飛散するので，防除を徹底する。
	カキクダアザミウマ	発生量：平年並	5月下旬現在，発生は認められない。
夏ネギ	さび病	発生量：平年並	5月下旬現在，平年並の発生である。曇雨天が続くと発生が助長されるので，初期防除を徹底する。
	黒斑病	発生量：平年並	5月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。高温多雨の場合には発生が助長されるので，初期防除を徹底する。
スイカ (トンネル)	つる枯病	発生量：やや多い	5月下旬現在，平年よりやや多い発生である。降雨が多いと発生が助長されるので，今後の気象に注意する。
	炭そ病	発生量：平年並	5月下旬現在，平年並の発生である。降雨が多いと発生が助長されるので，今後の気象に注意する。
促成 キュウリ	褐斑病		5月下旬現在，平年より多い発生である。罹病部は，次作への伝染源となるので，栽培終了時に残さのハウス外への持ち出しを徹底する。
半促成 ピーマン	アザミウマ類	発生量：平年並	5月下旬現在，平年並の発生である。
抑制 トマト	ミカンキイロアザミウマ		TSWV(トマト黄化えそウイルス)を媒介するため，前作からの防除も含め，育苗期の防除を徹底する。

## ナシを加害するハダニ類卵の薬剤感受性と防除について

ハダニ類は、薬剤抵抗性が発達しやすい代表的な害虫です。そこで、薬剤の効果を確認するため、ナシのハダニ類について、3種類の殺卵剤に対する感受性検定を行いました。その結果と防除対策の注意点についてお知らせします。

### 【検定方法】

平成17年8月下旬に、県内のナシ園からナミハダニ雌成虫を採集し、ポット栽培したツルなしインゲン葉に産卵させた後、この卵を検定に供試しました。ハダニが産卵したインゲン葉を、所定濃度に希釈した供試薬剤に10秒間浸漬し、処理7日後に孵化幼虫数及び未孵化卵数を調査しました。

### 【供試薬剤及び希釈倍数】

タイタロンフロアブル（フルアクリピリム水和剤）：2,000倍希釈

マイトクリーン（ピリミジフェン水和剤）：2,000倍希釈

バロックフロアブル（エトキサゾール水和剤）：2,000倍希釈

### 【結果】

(1) タイタロンフロアブルは、補正死虫率が74～86%と地点によってばらつきがありました（表1）。

(2) マイトクリーンは、補正死虫率が75～93%と地点によってばらつきがありました（表1）。

(3) バロックフロアブルは、補正死虫率が27～54%と全体的に低い傾向でした（表1）。

バロックフロアブルは、平成9年に行った検定では、調査した全地点で補正殺卵率が100%であり、ナミハダニ及びカンザワハダニの卵に対して高い殺卵効果が認められました。しかし、平成15、16年に行った検定では、ナミハダニの卵に対する補正殺卵率が10%前後と低い傾向であり、今回の検定結果においても同様の傾向であったことから、ナシ園によっては、ナミハダニ卵のバロックフロアブルに対する感受性が低下している傾向が認められました。

表1 各種薬剤処理7日後のナミハダニの補正死虫率（%）<sup>1)</sup>

供試薬剤	採集地点		
	土浦市	筑西市	下妻市
タイタロンフロアブル	81	86	74
マイトクリーン	86	93	75
バロックフロアブル	49	54	27

1) 補正死虫率(%) = {(対照区生存虫率 - 処理区生存虫率) / 対照区生存虫率} × 100  
孵化直後に死亡した幼虫は、死虫とした。

### 【防除対策の注意点】

(1) ハダニ類は、高温乾燥の条件で発生が助長されるため、梅雨明けから急激に増加します。多発生すると防除が難しくなるので、発生初期の防除を徹底して下さい。

(2) ナシには、ナミハダニ、カンザワハダニ、ミカンハダニなどが発生します。薬剤によっては、特定の種類のハダニに対して殺虫効果がないものがあります。防除を行う際には、そのナシ園で発生しているハダニの種類に合わせて殺虫効果のある薬剤を選ぶことが必要です。

(3) 薬剤感受性の低下を避けるため、同一薬剤の使用は年1回として下さい。ただし、ある薬剤に対する感受性が低下したハダニは、同系統の別の薬剤に対しても同様に感受性が低下することがあります。サンマイル水和剤、ダニトロンフロアブル、マイトクリーン及びピラニカ水和剤は、同系統の薬剤とみなされますので、これらはいずれかを年1回の使用として下さい。



## 施設野菜におけるコナジラミ類の防除について

施設野菜におけるコナジラミ類は、すす症状により作物の生育や品質に影響を及ぼす以外に、ウイルス病を媒介することもあり、防除を十分に行う必要があります。

また最近では各種殺虫剤に対する抵抗性が発達しているタバココナジラミ バイオタイプQの発生を県内で確認しています。タバココナジラミ バイオタイプQは薬剤抵抗性が発達しているため、薬剤散布以外の防除法も利用して、総合的な病害虫管理を行うことが大切です。

そこで今回は、施設野菜のコナジラミ類に対する耕種的防除法や物理的防除法を中心とした防除方法について紹介します。

### 【防除対策】

1) 栽培期間における防除対策< 薬剤を散布する以外に、次のような防除法や注意点があります。

定植時には、苗にコナジラミ類の寄生がないかよく確認し、ハウスへの持ち込みを防止する。

ハウスの出入り口と側窓には0.4mm目合いの防虫ネットを設置し、侵入防止を図る。

光反射マルチ、UVカットフィルム、黄色粘着板等を利用する。

増殖源となるハウス内および周辺雑草の除草を徹底する。

芽かきした葉や茎は、ハウス内に放置せず、肥料袋等に密封して腐らせ、葉についた虫を死滅させて処分するか、土中に深く埋める。

2) 栽培終了時における防除対策

株を引き抜くか、株元を切断してから1~2週間程度ハウスを密閉して蒸しこむ。作物が完全に枯れ、コナジラミ類が死んだことを確認してから収穫残さを処理する。

## 農薬登録速報(4月)の概要

平成18年4月期間中(4/1~4/30)に新規・変更登録のあった農薬は、以下のとおりです。なお、農薬の使用にあたっては、必ずラベル等を確認してください。

### 殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・殺そ剤等

新規> D A S ビームキラップジョーカー粉剤DL, S T パダンバッサ1キログラム剤, S T ビームゾル, サブリナフロアブル, サンケイサブリナフロアブル, スパイデックス, ビームキラップジョーカー粉剤DL, プロパック箱粒剤, ホクコーイモチエース1キログラム剤10, ホクコーイモチエースリンパー1キログラム剤, ホクコーキラップフロアブル, ホクコーキラップ粉剤DL, マザック乳剤, レインボーフラワーEX, 協友ヒノザン粉剤25DL, 三共ブラストトップダントツ粉剤DL

変更> I C ボルドー412, I C ボルドー66D, S T アンビルフロアブル, アクタラ粒剤5, アドマイヤー顆粒水和剤, アファーム乳剤, アミスタートレボンSE, アルバリン顆粒水溶剤, アンビルフロアブル, オルトラン水和剤, カスケード乳剤, キヒゲンR-2フロアブル, クミアイアドマイヤー顆粒水和剤, クミアイガスタード微粒剤, クミアイスピノエース顆粒水和剤, クミアイダイアジノン粒剤5, クミアイダコニール1000, クミアイトップジンM水和剤, グリーンオイル, コロマイト乳剤, サンケイダイアジノン粒剤5, シオノギ・ダイセド水和剤, シンジェンタアミスタートレボンSE, スタークル顆粒水溶剤, ストロビーフロアブル, スパットサイド水和剤, スピノエース顆粒水和剤, ダイアジノン粒剤5, ダイセド水和剤, ダコニール1000, ダコニールエース, テルスターフロアブル, トップジンM水和剤, トップジンM粉剤, ニッソラン水和剤, バスアミド微粒剤, フォース粒剤, ホクコーオルトラン水和剤, ホクコーガスタード微粒剤, ホクコースタークル顆粒水溶剤, ホクコーダイアジノン粒剤5, ホクコートトップジンM水和剤, ホクコートトップジンM粉剤, ホクコーリゾレックス粉剤, マイコタール, モスピラン・トップジンMスプレー, ヤシマアンビルフロアブル, ヤシマダイアジノン粒剤5, ヤシマダイセド水和剤, ヤ

シマトップジンM水和剤, ヤシマトップジンM粉剤, ラグビーMC粒剤, ランネート45DF, ランマンフロアブル, リゾレックス粉剤, リドミル粒剤2, 三井東圧アルバリン顆粒水溶剤, 三共アドマイヤー顆粒水和剤, 三共ダイアジノン粒剤5, 三菱スパットサイド水和剤, 石原ラグビーMC粒剤, 日産ストロビーフロアブル, 日産スピノエース顆粒水和剤, 日産ダイアジノン粒剤5, 日産フォース粒剤, 日曹ストロビーフロアブル, 日農アンビルフロアブル, 日農ダイアジノン粒剤5, 日農トップジンM水和剤, 日農フォース粒剤, 武田アンビルフロアブル, 武田オルトラン水和剤, 武田ダコニール1000, 武田フォース粒剤

#### 除草剤等

新規> DASカービー1キロ粒剤, SDSカービー1キロ粒剤, STゴルボ1キロ粒剤51, STトレファノサイド乳剤, オールキラススピードX微粒剤, カービー1キロ粒剤, ガスパ1キロ粒剤51, ゴウワンジャンボ, ネコソギA粒剤, バイエルイノーバDXアップフロアブル, パンチャー1キロ粒剤, プラスワンジャンボ, プラスワンフロアブル, ホームランキングジャンボ, ホクコープラスワンジャンボ, ホクコープラスワンフロアブル, ホクコーホームランキングジャンボ, 快速除草, 三共ガスパ1キロ粒剤51

変更> ACCクリアターン細粒剤F, BASFバサグラン液剤(ナトリウム塩), アーザラン液剤, ウェイアップフロアブル, カイタック細粒剤F, カイタック乳剤, カソロン粒剤6.7, クサトリーDXフロアブルH, クサトリーDXフロアブルL, クミアイナブ乳剤, クミアイバサグラン液剤(ナトリウム塩), クリアターン細粒剤F, クリアターン乳剤, グリホス, ゴーゴサン乳剤30, サイアナミッド カイタック細粒剤F, サイアナミッドカイタック乳剤, サイアナミッドクリアターン乳剤, シアノット, デュアル乳剤, デュポン カイタック細粒剤F, デュポンカイタック乳剤, デュポンクリアターン細粒剤F, デュポンクリアターン乳剤, デュポンロックス, ナブ乳剤, ホクコーカソロン粒剤6.7, ホクコーナブ乳剤, ホクコーバサグラン液剤(ナトリウム塩), ヤシマ カルナクス, ヤシマナブ乳剤, ヤシマバサグラン液剤(ナトリウム塩), ロックス粒剤, 丸和サーベルDF, 三共クサトリーDXフロアブルH, 三共クサトリーDXフロアブルL, 三共の草枯らし, 三共バサグラン液剤(ナトリウム塩), 住化バサグラン液剤(ナトリウム塩), 石原アーザラン液剤

#### 植調剤等

新規> スサーノマックス液剤

変更> STジベラ錠, ジベレリン協和液剤, ジベレリン協和錠剤, ジベレリン協和粉末, ジベレリン明治, ジベレリン明治液剤, ジベレリン明治錠剤, フィガロン乳剤, 武田ジベラ錠

#### 失効農薬

[DIC] ディクトラン乳剤, UBEピリカット乳剤, アグロスデリス粉3, アップランダー水和剤, アベンティスグランドボーイWDG, クサキラーA粒剤, クミアイスミチオンMC, ケス水和剤, ザーベックスSM粒剤, サングローール, サンサイド水和剤, シクロサール乳剤10, ダイメックスD EW, ダラポン水溶剤, ダラポン粒剤, テソロ水溶剤, トモノダイアジノン乳剤40, トレット粉剤DL, バイエルスペックス水和剤, バイエルルビゲン水和剤, ビームジンズミバッサ粉剤, ビタサイド粒剤, フジワンアブロードロムダン粉剤DL, ホクコーマクバールベイト, ホクコーロムダン水和剤, マクバールベイト, マルチガード水和剤, ヤシマスミマラバッサ粉剤DL, ヤシマダイアジノン乳剤40, ヤシマベフランサルファフロアブル, ラバリダルーバンバッサ粉剤DL, ロムダン水和剤, 金鳥ナメクジ粒剤, 三井トレット粉剤DL, 三共ブラックリーフ40, 三明カゼイン石灰, 日農ロムダン水和剤

農薬の登録失効は、同一成分の農薬においても販売メーカー毎になりますので、ご注意ください。

## ・ 今月の気象予報

### 関東甲信地方 1 か月予報

( 予報期間 5 月 27 日から 6 月 26 日 )

気象庁 ( 5 月 26 日 発表 )

< 向こう 1 か月の気温 , 降水量 , 日照時間の各階級の確率 ( % ) >

[ 確率 ]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	40	40	20
降水量	関東甲信全域	20	40	40
日照時間	関東甲信全域	40	40	20

[ 概要 ]

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は平年並か低いでしょう。降水量は平年並か多いでしょう。日照時間は平年並か少ないでしょう。

< 1 週目の予報 > 5 月 27 日 ( 土曜日 ) から 6 月 2 日 ( 金曜日 )

気温 関東甲信地方 平年並

< 2 週目の予報 > 6 月 3 日 ( 土曜日 ) から 6 月 9 日 ( 金曜日 )

気温 関東甲信地方 平年並か低い

< 3 週目から 4 週目の予報 > 6 月 10 日 ( 土曜日 ) から 6 月 23 日 ( 金曜日 )

気温 関東甲信地方 平年並か低い

## ・ テレホンサービス

下記の情報を 24 時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号 : 029 ( 226 ) 5321 , 6131

6 月上旬 水稲及びナシの病害虫対策について

6 月中旬 水稲及びダイズ , 並びにナシの病害虫対策について

6 月下旬 施設野菜病害虫の対策について

7 月上旬 水稲 , 果樹 , 露地野菜病害虫の発生現況と防除対策について